

ミニタングラム

大・中・小の3種類の三角形で様々な形ができる楽しさを味わえます。
小学校低学年向けの等積変形教材です。

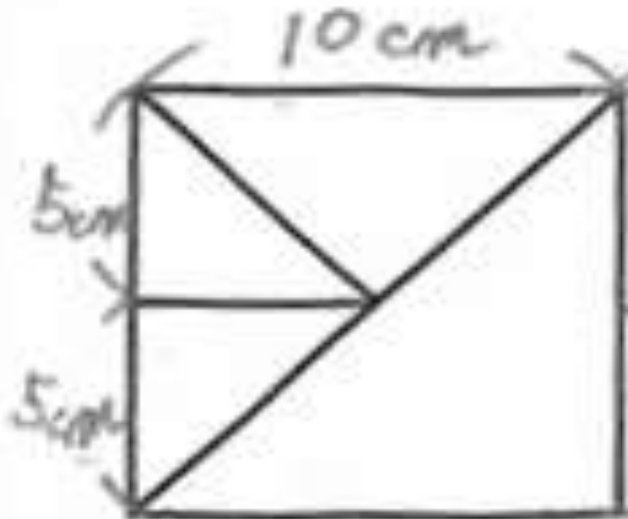
〈使い方〉

- モデルを見ながら①～⑦の順に形を作っていきます。(プリント1)
- 難しい子は、モデルを同じ大きさに拡大して、モデルの上に同じ大きさのピースをのせるようにします。
- 慣れたら時間をはかってタイムを競います。

ポイント

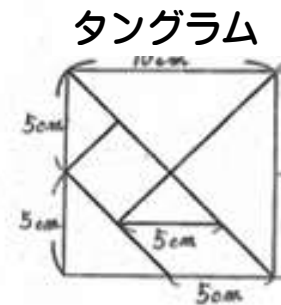
- ・(プリント1)の①～⑤のモデルは、4、5年生で出てくる平面図形(正方形、長方形、平行四辺形、台形、ひし形、三角形)の学習に利用できます。

ミニタングラム



タングラム

等積変形の図形で、面積の学習の導入に使えます。
遊びながら、面積はたし算もひき算もできるということが理解できます。



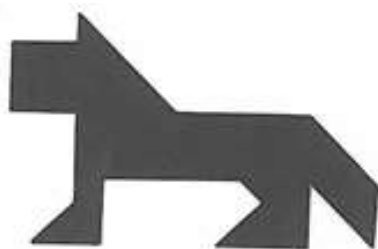
〈使い方〉

- 黒い絵を見て、Aライオン、Bかいじゅうのどちらの面積が広いか考えます。
- 7枚のチップで、Aライオン、Bかいじゅうの図形を作ってみて、面積が同じであることを確認します。
- 例題プリントを見て、いろいろな形を作ってみます。(プリント2)

ポイント

- ・黒の絵が難しい子は、補助線を引いたプリントを渡して組み立てるようになります。
- ・インターネットでタングラム子供向け問題のプリントが無料でダウンロードできます。

どっちの面積が広い？



A ライオン



B かいじゅう

ビジョントレーニング

ミニタングラムやタングラムは、見本と同じ形を再現することで、視空間認知を高めるトレーニングとなります。

〈使い方〉

- 同じサイズに拡大した見本の上にピースを並べます。
- 同じサイズの見本を机に1つだけ置いて、見本を見ながら組み立てます。
(プリント3)
- 複雑な形を組み立てるのに挑戦します。(プリント4)
- 見本の内側の線を消した図形を使って組み立てます。
- 見本の形を記憶して、見本を見ないで作ります。

ポイント

- ・見本を見ながら作る以外に、自分の好きな動物や文字など自由に作ると視覚機能を上げることにつながります。

見本のピースを並べる。



見本の内側の線を消して組み立てる。



手の安定性、固定性を育むトレーニング

手首を反らせて、マグネットのつけはずしの操作をする手の使い方は、鉛筆を正しく持って書字をするスキルの土台になります。

〈使い方〉

- ホワイトボードを100円均一のイーゼルなどを使って、立てて使います。
- ホワイトボードを立てた状態で、タンگرامなどマグネットシートのつけはずしをします。

ポイント

- ・マグネットシートの取りはずしで指先に負荷がかかるため、指先を使うトレーニングにもなります。
- ・壁面に幼児用クレヨンで絵や図形を描く活動も、土台作りのトレーニングになります。



かたち・大きさをくらべ

かたちの弁別や大小の比較ができる図形の基礎となる学習教材です。

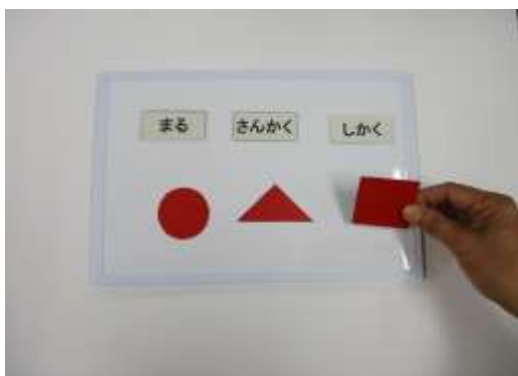
〈使い方〉

- まる さんかく しかくのパウチをした札をホワイトボードにはっておき、その下に同じ形のマグネットシートをはります。
- 3つの形のマグネットをはっておき、まる さんかく しかくをはります。
- 大 小の札をホワイトボードにはっておき、その下に大・小の三角形のマグネットシートをはります。大 中 小の3枚の札をはって大きさをくらべをします。

ポイント

- ・小→大と矢印をマーカーで書いておき、大きさの比較をすることもできます。
- ・イメージと言葉を合わせる学習にもなります。
- ・大、小の比較は、中学校で学習する「相似」の基礎となります

かたち



大きさをくらべ



指示の理解・ことば

大きさを表すことば、「大」・「中」・「小」や色のことば、「赤」・「黄」・「青」・「緑」などを学べます。ことばの札を使わず、口頭で指示してマグネットシートをはらせると、音声指示を実行するトレーニングになります。

〈使い方〉

- 大ききの違う三角形のマグネットシートをホワイトボードにあらかじめはっておき、**大** **中** **小**の札をはらせませす。子どもの力に合わせてホワイトボードマーカーで「大」「中」「小」と書かせるようにしてもよいでしょう。
- 円や正方形、三角形の図形を別の色のマグネットシートで作ってホワイトボードにあらかじめはっておき、子どもに**赤** **青** **黄**などの札をはらせませす。
- 口頭で「赤のまる」「黄色のしかく」「青のさんかく」などはるものを指示し、子どもに指示されたものをはらせませす。



ポイント

- ・学年や子どもの力に合わせて、ひらがなの札にしたり漢字の札にしたり工夫します。
- ・高学年では、「直角三角形」「正方形」「平行四辺形」「円」などの学年相応の単語を使うといいでしょう。
- ・図形の色や形の名前をホワイトボードマーカーで書かせる活動もできます。
- ・「1つの所に赤のまるをはります。」
「次に2の場所に青のしかくをはってください。」というように、一度に2つの指示を続けて出して、子どもにはらせせる活動は、ワーキングメモリーを鍛えるトレーニングになります。2つの指示を3つにすることで難易度が上がります。



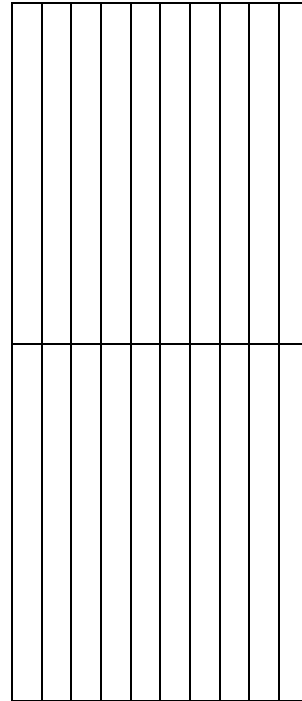
スティックパズル

スティックパズルは、棒をボードにぺたぺたと貼り、パズル問題に解答する遊びです。遊びながら思考力や計算力が身につく活動です。

〈使い方〉

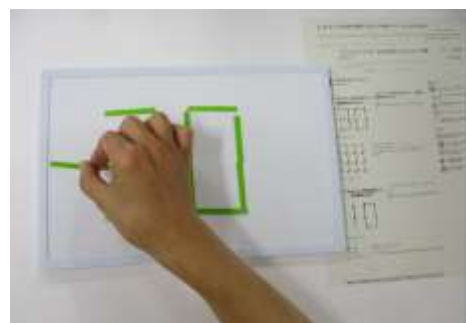
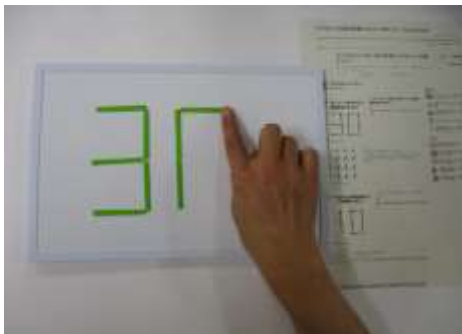
- マグネットシートに縦5 cm、横5 mmで線を引いて、スティックを20本作ります。(問題に応じて作るスティックを増やします。)
- 問題を解きます。
- 問題の図を見ながら、ホワイトボードにマグネットシートのスティックを並べます。(プリント5・6)
- 問題を解きます。

スティックパズル



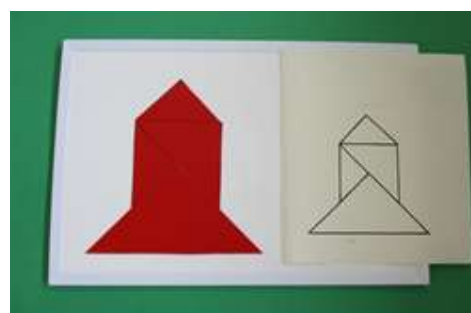
ポイント

- ・指は第2の脳と呼ばれており、指先を使う「スティックパズル」は脳の発達にも役立ちます。
- ・見本をもとに形を再現するような遊びには視覚認知の機能を高める働きがあります。
- ・マッチ棒パズルの問題をインターネットで検索して使うことができます。



令和元年度 東部地区 特別支援教育公開研修会

ミニタングラム遊び



日時

令和元年7月30日（火） 13:30～16:30

会場

北九州市立門司総合特別支援学校

北九州市立小倉総合特別支援学校

